

黒潮

和歌山県看護協会 会報

平成26年8月発行

第128号

発行所

和歌山県看護協会

〒641-0036

和歌山市西浜1014-27

TEL:073-446-0605

FAX:073-446-0899

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

発行人

古川 紀子



写真撮影：広報委員

CONTENTS

- 平成26年度 通常総会を終えて 2
- 日本看護協会会長表彰受賞者 2
- 平成26年度 新理事あいさつ 3
- 和歌山県看護協会会長表彰 3
- 保健師のコーナー 4
- 助産師のコーナー 4
- 訪問看護ステーションだより 4
- 看護師のコーナー 5
- 専門認定看護師のコーナー(トピックス2014) .. 5
- 地域連携のコーナー 6
- 「世界禁煙デーフォーラム2014」に参加して .. 6
- 1日まちの保健室 7
- フレッシュユース 8
- 私の〇〇 8
- リレーエッセイ 友達の輪 8
- 医療安全数珠つなぎ 9
- My Hospital 9
- 平成26年度役員・各委員
及び地区支部長名簿 10
- 和歌山県看護協会の動き 11
- 寄附 11
- 知事とメディカル・スタッフ団体及び
病院協会長との懇談会 .. 11
- 新人看護職員オリエンテーション開催 .. 11
- 知って得する看護協会だより 12
- プレゼント 12

和歌山県看護協会 会員数

平成26年8月1日現在

会員総数	5,310名
名誉会員	1名
保健師	127名
助産師	191名
看護師	4,773名
准看護師	218名

平成 26 年度事業開始にあたって

公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 古川 紀子



会員の皆様におかれましては、平素から、和歌山県看護協会の事業推進にご支援ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

本総会におきまして会長に選任されました古川紀子でございます。よろしく願い申し上げます。また、10名の方が和歌山県看護協会会長表彰を受賞されました。おめでとうございます。

平成 26 年度の通常総会が終わり、新たな役員体制のもとで、事業が動き始めました。

和歌山県看護協会は、公益社団法人として 3 年目を迎え、県民の皆様、会員の皆様に貢献できる看護協会をめざして参ります。

県民の皆様が、地域でいきいきと安心して生活できる環境づくりが求められており、看護職の役割が拡大し、一層重要となってまいります。

今後も、看護の質向上、看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくり、人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を使命として活動して参ります。

重点事業「看護実践能力及び専門性の強化」に

つきましては、通年の事業に加え、新たに「医療安全管理者養成研修」への e ラーニング導入、専任教員継続研修、認定看護師「救急看護」教育課程の平成 27 年度開校に向けての準備等、看護の質向上に努めて参ります。併せて、看護職員の確保定着に努めて参ります。

在宅看護の推進に関しましては、看護師職能委員会Ⅱ、在宅看護推進委員会と連携しながら、訪問看護推進事業に加えて、「看護の出前講座」を県内 8 地区支部で開催する等、在宅看護の機能強化を図って参ります。

新看護研修センター建設につきましては、会員の皆様には大変なご負担をおかけしているところですが、今年度中の完成を目指しております。進捗状況につきましては、機関誌「黒潮」、「看護研修センター建設だより」等を通じて情報を提供して参ります。

これからも皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

日本看護協会会長表彰受賞者

黒田 美也子



6月11日、日本看護協会通常総会で、日本看護協会会長表彰を受賞いたしました。

ただただ長く名前ばかりの会員を続けただけのことですのに、受賞いたしましたこと心より感謝申

上げます。今後とも日本看護協会、和歌山県看護協会発展のため、一会員として役割を果たしてゆきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

平成26年度 新理事あいさつ



会長を補佐し、理事の方々と力を合わせて、県看護協会のために微力ながら頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。

副会長 **木谷 恵**



副会長として2期目となります。県看護協会のますますの発展に尽力いたします。

副会長 **塩路 有理**



会員の皆様のご協力のもと頑張っていきたいと思っております。

専務理事 **中林 正良**



みなさまにご指導いただきながら常任理事の役割を果たしていきたいと思います。

常任理事 **山本喜久子**



微力ですが、協会の協力のもと魅力ある看護協会を目指します。

看護師職能委員Ⅱ理事 **中野 美枝**



地域の人々・関連する機関と連携のとれる活動に取り組みます

伊都地区理事 **岩崎 留美**



地区支部の皆様と共に、地域に貢献できるように努めていきます。

那賀地区理事 **大久保まさ子**



目標達成のため、会員皆様の協力のもと支部役員と共に頑張ります。

海南・海草地区理事 **宮井裕見子**



施設間の連携を深め、地域に貢献できるように努めてまいります。

有田地区理事 **古川 さゆ**



病院・施設・在宅の架け橋となり、看護連携強化に尽力いたします。

日高地区理事 **東 るみ子**



看護職の役割を更に発揮できるよう努めます。ご協力をお願いします。

田辺地区理事 **下門すみえ**



看護の質の向上と看護協会の更なる発展のため全力を尽くします。

准看護師理事 **中西 郁代**



二期3年目、皆様のお力を借りて引き続き頑張りたいと思っております。

監事 **灘井 京子**

和歌山県看護協会会長表彰

表彰された皆さんの声を聞いてみました！

- ① 抱負・モットー ② 後輩に伝えたい一言



- ① 相手の立場に立って考える。
② ひとつひとつの出会いは、あなたの大切な宝
橋本保健所 **雑賀 恵子**

- ① その時はその時です。その時もその時です。
② 信念は強く、視野は広く、時間は有効に！
海南保健所 **宮井裕見子**

- ① いつも笑顔で ありがとうの言葉を添えて
② 自分を大切に 出会いを大切に
和歌山県立高等看護学院 **石本 千珠**

- ① 地域に根付いた医療・看護を提供できるように頑張ります。
② いつも看護の視点で考え、相手の立場になって行動する。
医療法人 名手病院 **並松 睦世**

- ① 「感謝の心」を忘れないようにする
② 看護職として「喜び」を体験してください
和歌山県立医科大学附属病院 **岡室 優**

- ① 患者さんに寄り添い笑顔のオーラで包み込む
② 自分のやりたい看護を常に追求すること
日本赤十字社和歌山医療センター **谷垣内郁余**

- ① 看護の学問と実践の融合をめざすこと。
② いつも心に“聞いてください、看護師さん”
和歌山県立医科大学保健看護学部 **辻 あさみ**

- ① 感謝と真摯さを忘れずに。
② 人との出会い、つながりが成長の支えです。
海南医療センター **西川 滋子**

- ① 誠心誠意。最大限の努力。
② 挨拶からコミュニケーションを始めよう
国保日高総合病院 **芝 茂子**

- ① 人に寄りそう看護
② 対人援助者として必要な振る舞いを身につける
田辺中央病院 **鈴木 正代**

保健師のコーナー

保健師職能委員 平野 健志

保健師職能委員をさせていただき、任期である2年間が間もなく過ぎようとしています。保健師職能の活動についてまるで知らない私に、職能委員長をはじめ先輩職能委員のみなさんは、様々なことを一から丁寧に教えてくださいました。先輩職能委員のみなさんは、「私は保健師である」という誇りを持たれ、生き生きと活動されていて、毎回の職能委員会ではたくさんの刺激をいただきました。

さて、昨年6月に沖縄で「第1回全国男性保健師の集い」が開催されました。現在、400名ほど男性保健師が全国で働いているそうですが、今回70名の方が参加され、有意義な交流が行われたようです。私自身は残念ながら参加できなかったのですが、第2回は平成28年度に神奈川県（横浜市）で開催さ

れることが決定しており、参加に向けて今から資金を貯めていかなければと思っています。県内でも昨年度、保健所の男性保健師が中心となっただき、行政で働く男性保健師のメーリングリストがはじめて作成されました。平成25年度末現在、登録者数は12名（県4名、市町村8名）で、まだまだマイノリティですが「県内男性保健師の集い」などでもできれば面白そうだなあと勝手に考えています。

職能委員の任期は終わりますが、この2年間で得た貴重な経験を、今後の保健師活動に生かすべく、私自身巨漢で、ただでさえ周囲から「暑苦しい」と思われておりますが「熱い気持ち」は持ち続けていきたいと思ひます。

助産師のコーナー

助産師職能委員 植田 啓子



職能委員に参加させていただき2年目になります。遠方なため参加するのが大変ですが、毎月他施設の方々と交流できるのが楽しみでもあり、大変良い刺激となります。

昨年は新人助産師研修に18名の方が参加されました。新人の皆さんからは交流がもててうれしかったという声も頂きました。

今年も3回／年実施します。また助産師のキャリアパス・クリニカルラダーの理解について全国30か所で衛星通信を実施し多くの参加をいただきました。今年度も「助産師の実践能力強化とその体制整備」として引き続き普及に向けて取り組んでいきます。今年度も皆さまと交流を深めながら共に学んでいけたらと考えています。色々な講習会・勉強会を計画していますので一人でも多くの方の参加をよろしくお願ひします。

訪問看護ステーションだより

介護職員に援助指導（第1号研修指導員）としての看護師の役割

訪問看護ステーションなだい 管理者 上田 美紀

在宅看護で連携をとる介護職員への関わりについて話したいと思ひます。

私は、第1号研修指導員（介護職員に対し援助技術の指導が出来る）資格を取得させて頂き、援助に必要な技術と病態について学習を深めた介護職員に対し利用者様の援助に繋げています。

また介護職員は、個別性に応じた技術を取得し援助出来る様になり活躍しています。

実際の在宅の場面では、看護の必要な方であっても十分な看護を提供出来ない事もあり、その際の看護師のサポートとして介護職員が介入してくれています。全てを任せ切るのではなく、看護師に状態を報告し指示を確認できる体制で、安心して利用者様に在宅ケアを提供しています。

今後、在宅看護は介護職員の方の援助が不可欠になってきます。

介護職員の方が個人だけで判断するのではなく、相談できる関係性が必要だと思ひます。

スタッフ間の情報共有する事により、安心した在宅看護の提供に繋がっていると感じています。



看護師のコーナー

看護師職能委員会Ⅰ 並松 睦世



看護師職能委員会Ⅰの活動に参加させて頂き2年目になります。

看護職の役割拡大や実践能力の強化が必要とされるなか、看護職が健康にまた安全に働き続けるために現場の問題を把握し、労働環境改善に向けた活動や地域での医療・看護の活性化がますます

必要となり、職能委員会の役割は大きくなっています。

会議に参加させて頂く度に看護協会員のひとりひとりが協会の活動を知って、専門職として能力を発揮できるような仕組み作りが必要と痛感しています。

職能委員会Ⅱと協働しながら看護師が生き生きと働き続けられることができるように、委員会メンバーと協力しながら頑張っていきたいと思います。

看護師のコーナー

看護師職能委員会Ⅱ 山下 陽子



昨年度より看護師職能委員会Ⅱに参加させて頂き2年になりました。

委員会では、出張研修などいろいろな活動を通じ、貴重な経験と学びをさせて頂いています。

超高齢化社会となり、介護福祉施設では、医療ニーズの高い入所者が増え、病院や在宅看護師との連携や介護職との共働、地域との連携など、施設での看護職の役割や質の向上が問われています。医療での治療を経て在宅復帰を目指す対象者の個々の

ニーズに添った生活援助を提供できるように、また対象者のQOLを重視した看護・介護が提供できるように関わっていきたいと思います。

職能委員会Ⅱが昨年度から出張研修での「安らかな看取りについて」では、在宅や施設で勤務する職員は、高齢者や家族の心情を理解し、人生の最期に関わることが大切であるということを感じさせて頂きました。

今後も、出張研修を通じて在宅・福祉部門で勤務する看護師や介護職の方と交流を持ち、職能委員会Ⅱが充実した活動を行なえるように頑張りたいと思います。

専門認定看護師のコーナー トピックス 2014

慢性呼吸器疾患看護領域の活動について

南労会紀和病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 白石 菜保子



慢性呼吸器疾患看護は、平成22年に日本看護協会認定看護師制度の20番目に認可された新たな分野であり、和歌山県では資格取得第1号となりました。

慢性呼吸不全患者は、増悪・軽快を繰り返しながら呼吸困難やADLの低下が緩徐に進行していく中で、病に伴う様々な状況と折り合いをつけながら療養生活を送ることを余儀なくされています。病の慢性性の特徴は、長期であり、そのケアの殆どが家庭において行われるため、患者のセルフケア能力向上への支援が大変重要です。患者が日常生活の調整を図りセルフケア行動が取れるように、また、患者が自身の命への信頼を持つことができ、生きる希望を持って生活の質を維持することができるように、患者とその家族に寄り添い共に歩んでいきたいと思えます。

目標とする課題は沢山ありますが、先ず呼吸ケアレベル向上のための学習会や、現場における口腔ケアや体位管理等の密着した指導や実践を行い、小さなことから少しずつ確実に積み上げていきたいと考えます。そしてRST（呼吸ケアサポートチーム）の立ち上げや看護外来等、横断的な活動を徐々に拡大していきたいと考えています。

チーム医療を行う中で、私達はファシリテーターとしての役割を担っており、課題を達成していくためには確かなビジョンを持たなければならないという責任の重さを感じています。今後も熱い信念を持ち自己研鑽に努め、常に自己を内省しながら柔軟に活性し続けることが、認定看護師として、一人の人間としての成長に繋がると考えます。

地域連携のコーナー

紀北分院における「地域連携室」の活動について

和歌山県立医科大学病院附属病院紀北分院 山下 みよ子



地域連携室では、紹介予約受診患者の予約、紹介予約受診時の受付、受診後の紹介元への礼書、受診報告書の管理などの前方連携はもちろんのこと、退院・転院調整、他院受診調整などの後方連携支援にも力を入れています。また在宅ケアサービス調整、退院後の病院・介護保険施設との連絡調整、医療費や生活費等についての相談などについて支援しています。スタッフは、看護師1名、医療ソーシャルワーカー（MSW）1名、事務員1名の3人で構成されています。地域連携室業務として、開業医など地域の医療機関から紹介された患者さんの予約電話に関して、事務員、MSW、看護師も電話対応をおこない積極的に予約取得をおこなっています。

紹介いただいた患者さんの診療情報提供書は、

必ず地域連携室を経由することとし、受診報告書や経過報告書、紹介統計、逆紹介管理をおこなっています。他医療機関の外来受診予約取得についても地域連携室で対応しています。

入院相談については、連携室にご相談の連絡と医療情報提供書・看護情報提供書を頂いた後、医師・病棟と日程調整をおこないます。できるだけ早いうちに受け入れができるよう、また入院時には担当の者が対応できるよう調整しています。

週1回行われる院長回診に同行し、スムーズに退院調整ができるよう患者さんの状況や情報の把握に努めています。

今後も地域住民が安心・納得のできる医療提供の窓口となるよう努力いたします。

「世界禁煙デーフォーラム2014」に参加して

社会経済福祉委員会 名越 幸

5月31日、県立和歌山工業高校で世界禁煙デーフォーラムが開催されました。「育てよう、たばこを吸わない大人、断ち切ろう、たばこの連鎖～子ども達への禁煙防止教育と禁煙治療～」というテーマに沿って養護教諭や保健所の方々による実践的な取り組みの報告と、たばこ問題・禁煙治療の第一人者である奈良女子大学教授の高橋裕子先生による「子どもへの禁煙治療～奈良県での試みと課題～」と題した講演がありました。

中学生のときに吸い始める子どもの割合が多いため、早期からの防煙教育の有効性が報告されました。小学校対象に実施した防煙教育前後のアンケート結果で、教育前は大人になったら喫煙するつもりとの回答があったのに対し、教育後は0%

という結果が出ています。22歳まで喫煙しなければ生涯喫煙者になりにくいというデータも示されました。

子どもの喫煙の3つの有害性は1. 将来の疾病増加 2. 現在の生活の変化（味覚、睡眠パターン、精神症状） 3. ニコチン依存罹患の速さが挙げられます。子どもは短期間でニコチン依存症になりますが治療の効果も早く得られることから、喫煙の裏側にある子どもの心理を理解し、ニコチン依存には処罰でなく治療を!!と言われていました。喫煙率低下に役立つものは禁煙試行を増やすことであり、たばこの価格値上げや生活の場の禁煙化、周囲の大人による禁煙治療を受ける気にさせる言葉かけなど環境の工夫が有効とのことでした。

「まちの保健室」



1日まちの 保健室



- ・9か所での参加者は1,123名であった。
- ・今年度は、薬剤師によるコーナーを設け、内服（高血圧症）の相談を実施していただいた。
- ・地域住民の方々と会話しながら健康測定させていただき、地域における看護師の役割を知り、健康管理の動機付けを促すことができた。今回比較的若年層の参加者が多く、初めて血圧、体脂肪、BMI指数測定を行ったという人もいた。参加者に測定値の記録用紙をお渡しさせていただき大変喜んでいただいた。
- ・参加される地域住民は健康に関心のある方が多く毎年この行事を楽しみにされている。また、協力員も地域住民やさまざまな医療機関の職員と交流ができ有意義であった。
- ・地区以外の参加者も多く、広域にわたり和歌山県看護協会のアピールができた。



心地よい眠りで、あなたの元気を応援します。

東洋羽毛のゴア® 羽毛ふとん

汚れのもとになるものは、ふとんの中に入りません。

寝ているときの汗は、こもりません。

まるでふとんが、呼吸をするように

いつも衛生的で、心地よい温かさを保ちます。

温かいを超えた、至福の寝心地を、

是非お試しください。



TUK
東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所
〒640-8329 和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F
☎ 0120-32-7766
ホームページアドレス <http://www.toyoumo.co.jp>

清潔・きれい・衛生
Bedding Products

★★★フレッシュナース★★★



「看護師になって」

公立那賀病院

富田 和豊

勤務して3ヶ月が経ちました。人の命を預かる責任の重さと技術のなさに、不安な毎日です。しかし、プリセプターや先輩看護師、同期の支えもあり、前向きに頑張ることができています。技術の未熟さから患者様に苦痛を与えてしまった時、「人は失敗して覚えていく。看護師1年目は大変やろうけど頑張て」と言っていただけ、嬉しさと同時に患者様にも支えられているのだと実感しました。

私の周りには、見本となる先輩看護師が沢山います。新人研修等も充実し、とても良い環境で勤務できることに感謝しています。知識や技術はまだ未熟ですが、患者様に対する感謝の気持ちや初心を忘れず、常に笑顔で対応できる看護師に成長したいと思っています。



新人看護師として

社会医療法人黎明会 北出病院

長友 奈央

4月から晴れて看護師となり、北出病院に入職しました。九州から和歌山という土地に来て、始めの頃はとても心細かったのを覚えています。

看護師として働くということは、想像していた以上に厳しく、大変な仕事であると実感しています。私の働いている病棟は整形・消化器の外科病棟です。急遽入院され、手術を受ける方や化学療法を受ける方もいます。毎日どのように患者さんや家族と関わったらよいか、他職種との関わり方など日々試行錯誤しています。

まだまだ未熟で、失敗も多くあります。しかし、一人の看護師として患者さん、家族、先輩看護師から学びつつ、自分がどんな看護をしていきたいのか、その道を探し極めて行けたらと思っています。



「新人Nsとして現場に入って思うこと」

医療法人やすだ堀口記念病院

山下 優希

憧れていた制服に袖を通し、初めて現場に立った時は、嬉しさと不安と緊張で胸がいっぱいになりました。実際看護師として働き始め、学生の時とは異なり自分でできる処置や看護ケアも増え、患者様に「ありがとう。」と言ってくれたり、患者様が回復する姿にやりがいと充実感を感じています。しかしその反面で、侵襲を伴う処置やケアを行うにあたり、一年目の新人看護師であって一人の看護師として、重要な役割と責任を感じるようになりました。今は多重課題に悩まされる日々ですが、先輩看護師のように広い視野を持ち、確かな技術と知識を身に着け、一人前の看護師になれるように努力していきたいと思っています。

私の



《私の音》

医療法人スミヤ 角谷リハビリテーション病院 看護師 大森 貴之



日常生活において音楽というものの存在は大きいと思っています。聞くものや聞く場所は人それぞれですが、音楽を聴かないという人はほとんどいないのではないかと思います。私はライブやコンサートと言われるものに頻りに足を運びます。好きなアーティストの音楽は家で聴くだけでもいいのですが、

生で演奏したり歌っているのを聴くとまた違う聴き方ができます。人間のしていることですから毎回同じにはならないんです。

当院ではスタッフによる演奏会や患者さんのカラオケ大会を実施したりしています。

リレーエッセイ

友達の

輪

Vol.48

紀南病院 根来 康子

皆様そろそろお忘れの2000年問題の前年1999年4月に紀南病院へ入職しました。その頃は旧病院だったので、カルチャーショックも大きく(詳しく聞きたい方は個人的にどうぞ)、慣れるまで苦勞しました。

今では、「しよし、しよし」「なっとうしたいんな？」など方言で会話。大阪生まれの大阪育ちとは誰も気づいてくれません。休日に温泉に入り(夜勤後で行くときもあり)、ランチを食べ、リフレッシュしています。

今回は、医療法人 愛晋会 中江病院 北山 由美さんをご紹介いたします。

医療安全

数珠つなぎ

国保野上厚生総合病院

井堰 哲明



医療安全管理者研修を終了し、その後リスクマネージメントに携わっています。

看護師長の朝礼でインシデント・アクシデント報告を行ない、リアルタイムで知ることができます。問題の把握や改善を行なうのですが、繰り返すこともあります。

電子カルテが導入されることで、転記間違いなどのヒューマンエラーがなくなることを期待していま

すが、かわりに慣れない電子カルテでのエラーも考えられます。

「安全」をキーワードにこれからも地道に頑張っていきたいと思っています。

次回号に紹介させていただく方は
和歌山県立こころの医療センター 山中 大城様です

My Hospital

橋本市民病院

西山 登志子



橋本市民病院は和歌山県の北東県境に位置し、北に大阪府河内長野市、東に五條市と境界に接しています。また橋本市は北に金剛山地、南に紀伊山地に挟まれた山間部で東西に市の中心を紀ノ川が流れ、歴史的には、高野街道と伊勢（大和）街道の交わる場所に位置して、京や奈良の都の文化と、高野や伊勢の宗教文化が溶け合い独自の歴史と文化を育みながら発展してきている街です。

看護部は、「私たちは患者の権利を尊重し、安心・安全・安楽な看護を提供します」を基本理念とし、また教育理念として「患者の満足と安心・安全を基本とし、急性期病院の医療に対応した専門的な看護を提供できる看護職を育成する」を掲げています。

平成24年度より「働き続けられる職場づくりを目指して」ワーク・ライフ・バランス（WLB）推進事業に参加しています。「仕事と生活を両立してキャリア開発が継続できる」をビジョンとし、組織強化を図るため、「キャリア開発のための教育体制の充実」・「師長職位の勉強会」・「看護師と看護補助者の業務の明確化、看護補助者教育の充実」を企画、実施しています。

教育体制としては、新人教育・現任教育（平成23年よりクリニカルラダーシステムを導入）を2つの柱とし、それぞれの立場と段階に応じた教育と教育的な援助を行っています。また、看護補助者教育の充実、基礎看護技術・知識の向上と看護の質の向上を図っています。

また当院は地域の中核病院として急性期医療を担っており、さまざまな重症患者に対する医療・看護が求められる一方で地域包括ケアを見据えた対応が必要であると考えます。そこで、退院調整を専門に行うための退院調整看護師を地域連携室に配置しています。入退院調整として、退院後の在宅の有無、施設入所の適応、通院の可能性、介護する家族的背景等、患者を取り巻く状況も含め対応していきます。そして、地域の社会資源やネットワークを有効に活用するために、各種機関と連携を取りながら退院支援を進めていきます。入院患者の退院に向けたサポート、地域における支援サービスの調整を行うことで、有効かつ効率的な退院調整を図っていきたく考えています。

平成 26 年度 役員・各委員及び地区支部長名簿

★印は委員長

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
役員		常任委員		看護研修センター 建設推進委員	★塩路有子 山本友子 前馬理恵 温忍 木谷恵 岩崎留美 小原喜代子
会長	古川紀子	社会経済福祉委員	★岸上恵美 古川さゆ 鈴木正代 名越幸帆 湯口真帆	ナースセンター事業 推進委員	★上田陽子 竹内良子 坂口スマ子 小泉美穂 高垣通代
副会長	木谷恵	教育委員	★袋邊順子 上葛さちこ 辻本悦子 前田真澄 井ノ上真澄	認定看護管理者 教育運営委員	★角谷知恵美 水田真由美 素川美雪 柏谷恵子 坂本美幸
副会長	塩路有子	広報委員	★中口千枝子 植久子 西尾優子 和田直子 岡田由美	ワーク・ライフ・バランス 推進委員	★角谷知恵美 小松仁美 亀田登代美 木谷恵 東直行 辻あさみ 吉田眞理子 金川めぐみ 杉山彰浩 亀田登代美
専務理事	中林正良	医療安全対策委員	★澤田康幸 丸中大城 谷川美佐子 澤孝子	認定看護管理者会	角谷知恵美 松尾文美 池本義子 廣瀬朱美 黒田美也子 釜坂加寿恵 由良早苗 橋爪見千代 脇村睦代 西山由美 松井亮雄
常任理事	山本喜久子	災害看護対策委員	★曾和倫代 山本径代 大江徳子 山田恵美 柳岡佐智子	推薦委員	釜坂加寿恵 由良早苗 橋爪見千代 脇村睦代 西山由美 松井亮雄
理事 書記長	小泉美穂	看護研究学会委員	★坂口正 廣瀬朱実 西林和美 服部園美 岡村江利子 西勝美	選挙管理委員	★田中美幸 藤若由紀子 山本友子 福山悦子 坂本裕美子
保健師職能委員長	★櫻根桂子	特別委員			
助産師職能委員長	★脇田美恵	[まちの保健室]運営委員	★野上千晶 小田垣弥智世 坂本和樹 松間千幸 川口好美		
看護師職能委員長 I	木下有照代	在宅看護推進委員	★木村晴美 鬼塚幸幼 南たえこ 奥田資子 松尾真由美		
看護師職能委員長 II	橋本彩代				
伊都地区支部長	嶋田彩代				
那賀地区支部長	斉藤典代				
和歌山地区支部長	山懸由紀				
海南・海草郡地区支部長	天野多真				
有田地区支部長	塩崎裕美				
日高地区支部長	★宮本靖代				
田辺地区支部長	★津村美穂				
新宮・串本地区支部長	池島二美路				
准看護師理事	植田啓子				
監事	小谷悦子				
//	松本千寿香				
// (外部)	浦由香子				
	★東野文代				
	堀江佳代子				
	並松睦世				
	原朱美				
	★藤井かおり				
	山本初太郎				
	★中野美枝子				
	角石敬央子				
	戸石未央子				
	山下陽子				
	石谷朋子				
	佐藤房子				
	東るみ子				

和歌山県看護協会の動き

平成26年度第3回理事会

開催日時：平成26年6月23日（月）13:00～15:00

I 確認事項

1. 平成26年度総会議案の決議事項確認及び事業推進について

1) 議決事項

第一号議案 平成26年度役員及び推薦委員の選出について

平成27年度公益社団法人日本看護協会代議員及び予備代議員の選出

第二号議案 平成25年度決算報告並びに監査報告

2) 平成26年度重点事業及び事業計画及び予算計画について

II 協議事項

1. 代表理事選定について (承認)

2. 理事の職務権限規程の改正について (承認)

3. 新看護研修センターについて (承認)

4. 円滑な事業運営（理事会等の年間計画）について (承認)

III 報告事項

1. 各員会について

1) 各委員会委員について

2) 理事の委員会等の担当等について

2. 理事等のメールアドレスについて

3. 新たな財政支援制度（基金）にかかる事業

4. 会員数について

5. その他

1) 新看護研修センターへの寄付

新看護研修センター建設資金としてご寄付をいただきました。

木村佐多子様 50万円

谷 眞子様

黒田美也子様

ご支援心より感謝申し上げます。

知事とメディカル・スタッフ団体及び病院協会長との懇談会

平成26年7月1日（火）19時からホテルアバローム紀の国で、知事と病院協会会長及び県看護協会を含む8メディカル団体との懇談会が開催されました。

県担当者から看護職員確保対策や脱法ドラッグ対策等について説明がありました。

各団体代表から概要や課題について仁坂知事に説明をおこないました。

看護協会からは、「看護の出前講座」や平成27年度に開催を予定している救急看護認定看護師養成課程等について紹介しました。

活発な意見交換がなされ21時に閉会しました。

新人看護職員オリエンテーション開催

日時：平成26年6月30日（月）、7月7日（月）

今年度も、昨年に引き続き2日に分けて開催することとなり、235名の新人看護職員をむかえ実施しました。

午前中は、日本看護協会、和歌山県看護協会の役割や動向についての説明、午後からは、「先輩達の経験から学ぶ」と題して、先輩4名から体験談を聞

きました。その後グループに分かれて「いきいきと働くために」をテーマに話し合いました。

「不安に思ったり、悩んだりしているのは自分だけじゃないとわかってよかった」「知識や技術を身につけ、わからないことを減らし、自信を持って働きたい」など、貴重な意見を共有しました。



あなたのために、できること あなたに、できること

夜勤・交代勤務の負担を軽減する生活のヒント

夜勤交代勤務に従事する看護職一人一人が日ごろから、適度な運動、バランスの良い食事、睡眠の質に気をつけて健康づくりを行うなど、健康管理に努めることが重要です。

心身が疲れた状態で仕事をすれば、覚醒度が低下し、思いもよらない事故につながる可能性もあります。「無理をしてでも働く」のではなく、「疲れている」「体調が悪くなりそうだ」というサインに気づき、適切に対応できるようになることが必要です。

<夜勤・交代制勤務をしながら生活をするために>

- 1、友人や家族、周囲の人とのつながりを大切にしましょう。
 - ・家族や友人の理解を得ましょう。
 - ・家族や友人と過ごすことのできる時間を確保しましょう。
 - ・夜勤・交代勤務についてポジティブに考えましょう。
- 2、今の自分にあった働き方を考えましょう
 - ・限りある時間を今、私はどのように使いたいのかということから、自分の働き方を計画しましょう。
- 3、ストレスをため込まないようにしましょう。
 - ・自分にあったリラクゼーション方法をいくつか知っておき、実践しましょう。

第18回

プレゼント!

はがきに ①希望の商品名 ②氏名 ③会員番号 ④郵便番号・住所 ⑤電話番号 ⑥勤務先名 ⑦本紙へのご意見・ご要望を明記の上、9月25日(木)までにお送りください。

(消印有効・1人1通のみ)

抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



「足まくら」
を

2名様に!

どちらか1つ
当たります!

「図書券」

1,000円分を

3名様に!

宛先 〒641-0036 和歌山市西浜 1014-27 和歌山県看護協会 「8月号プレゼント」係